

神経芽細胞腫スクリーニングの内部精度管理－ガイドライン作成－

(分担研究：マス・スクリーニングの精度管理に関する研究)

沢田 淳，花井潤師（札幌），穴沢 昭（東京），児玉京子（名古屋），
沼田公介（京都），川勝秀一，近江園善一，菊池由生子（札幌）

要約：前年度に神経芽細胞腫スクリーニングに用いているHPLCによるVMA，HVA，クレアチニン測定
の精度管理の現状とその資料をえるために，1回目，11施設に5種の尿，2回目24施設に4種の尿の測
定を依頼し，その結果，精度管理の必要性とそのための測定機器のメンテナンスのガイドライン，ス
タANDARDとなる尿を準備することを検討した。その結果をもとに，4施設での検査実施状況に検討を
加え，「神経芽細胞腫スクリーニング内部精度管理実施ガイドライン」を作成したので，その内容を報
告するとともに，各施設へこのガイドラインを配布し，内部精度管理実施の役に立たせて戴くように指
示した。

見出し語：神経芽細胞腫，マス・スクリーニング，HPLC，内部精度管理，ガイドライン

研究方法：HPLCによるVMA，HVA，クレアチニ
ンの定量による神経芽細胞腫スクリーニングが実
施されている。前年に，この方法の精度管理を目
標として，協力のえられた施設で同一サンプル尿
のVMA，HVA，クレアチニンの定量を依頼し，精
度と機器のメンテナンスの状態の調査をおこな
った。その結果，内部精度管理のマニュアルやス

タANDARD尿の統一の必要性がでてきた。そこで，
今回4施設の協力をえて，数回の討議をかさね，
ガイドラインを作成した。

このガイドラインは神経芽細胞腫スクリーニ
ングの検査精度の維持，向上をはかるためと，後に
実施する外部精度管理のための内部精度管理の標
準的方法を定めることを目的として，日常検査に
支障なくすべての施設でおこなえるように必要最
低限の条件を示している。

-
- ・ 京都府立医科大学小児科
 - ・ 札幌市衛生研究所

に、 \bar{X} 管理図，R 管理図を作成する。

- ② 良い管理状態にあるための管理図の条件としては，管理限界外にプロットがない事やプロットが上とか下に集中している，限界線近くに多い，周期性がみられる，などが見られないことである。
- ③ 管理図は各施設で整備保管するー内部・外部精度管理のために必要な資料となる。

7. HPLC などのメンテナンスマニュアル

\bar{X} -R 管理図により検査精度を管理するために，HPLC 汎用器，HPLC 専用器および EIA に別けて，測定機器などの日常の保守管理のポイントについ

て，「神経芽細胞腫スクリーニングにおける HPLC などのメンテナンスマニュアル」ーこの中には HPLC 汎用器については 4 施設，専用器では 1 施設，EIA は 1 施設での機種別の保守，管理のポイントやトラブル対策およびコントロール尿の測定結果などを記載したーを参考にしてほしい。

8. その他

原則的に各 HPLC 機器ごとに測定するのが望ましいが，最小限でも 1 台の HPLC はこの方法で管理すること。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:前年度に神経芽細胞腫スクリーニングに用いている HPLC による VMA,HVA,クレアチニン測定の精度管理の現状とその資料をえるために,1 回目,11 施設に 5 種の尿,2 回目 24 施設に 4 種の尿の測定を依頼し,その結果,精度管理の必要性とそのための測定機器のメンテナンスのガイドライン,スタンダードとなる尿を準備することを検討した。その結果をもとに,4 施設での検査実施状況に検討を加え,「神経芽細胞腫スクリーニング内部精度管理実施ガイドライン」を作成したので,その内容を報告するとともに,各施設へこのガイドラインを配布し,内部精度管理実施の役に立たせて戴くように指示した。